

「あたたかな人間関係づくり」を基盤とした教育活動の推進 ～「自分大好き」「友達大好き」な児童の育成～

～2年2組・2年3組・2年4組 授業訪問～

学習規律「須恵ースタANDARD」の実施状況確認のための授業訪問で、今日は2年1組、2年2組、2年3組の訪問を行いました。

「心がまえ」「物がまえ」「身がまえ」といった基本的な学習規律について、どの学級においても徹底に向けた指導が継続されています。今日は3学級とも、同じ学年、同じ教科、同じ学習内容だっただけに、学年における取組の違いも感じました。「学習の準備はいつ行うのか」「机の上の学習具の置き場所」「次の学習に備えた休憩時間の過ごし方」など、2年生に限らず「子ども達の学びの充実」「将来の自立」に向け「どのような指導をどこまで行うのか」、学年内での考えの共有をお願いします。

2年生3学級ともに算数科で「買えるか買えないか」の学習が行われていました。普段の算数では、「式を立て答えを導きだす」ことが多いのですが、今日は「98円のパン5個は500円で買えますか？」というように、立式、計算が必要ない学習だったので、それぞれの学級で授業展開の工夫をしていました。2年2組では、子どもから出された「100円で1個買えるかを考える」という本時のポイントの中核にすえ授業を展開していました。2年3組では「買えるか買えないのか自分はどうか考えるのか」という根拠を大切に授業が展開されていました。2年4組ではノートに自分の根拠を書く時間を十分に設けた授業が行われていました。3学級ともに、子ども達がわかりやすいようにデジタル教科書を用いた授業を行っており、学年で授業づくりを行っていることがよく伝わってきました。「分かりやすい授業を効果的に準備する」上で、大切なことです。



2年2組：タブレットを介して考えの交流が行われています。



2年2組：ポイントとなる発言に子ども達の目がしっかりと向いています。



2年3組：電子黒板を使い、学級で考えを練り上げていきます。



2年2組：自分たちの説明をグループの中で試しています



2年4組：学級全員でゴールを目指します



2年4組：安心して発表できる雰囲気づくりに取り組んでいます